

説教

主よ、一つとなさせください!

<エフェソ4:1~4>

鄭然元 牧師 (大阪教会)



(この説教は、2023年10月9日、東京教会で開催された在日大韓基督教会第57回定期総会において敬虔会でなされたものです。)

在日大韓基督教会第57回定期総会に出席された総代の皆様! 総会を始めるにあたり、敬虔なる礼拝にて私のような至らぬ者が御言葉を取り継ぐことができ、感謝の気持ちと同時に申し訳ない気持ちもあります。

この場は私にとって大きな意味のある場所です。1983年春、東京に到着して初めて礼拝をささげた教会、天に召された吳允台牧師任より説教をするようにと命じられてこの講壇で震える気持ちで説教をしたこと、東京中央教会で説教奉仕をしていた時に在日大韓基督教会に加入することを申し出て、総会加入を許可され、宣教師加入を許可された総会会場が、ここ東京教会です。さらに、副総会長も務めたことのない50歳前半の若輩者を2007年に第47回期総会長に選出された総会会場がここであり、在日大韓基督教会100周年行事、東京教会設立100周年の記念を共にすることができたのもここ東京教会です。

私は、総会の規則に従って視務を終え引退する牧師です。過去40年という歳月の中で、総会を共に仕えてくださった先輩方、同僚、後輩に誠心誠意お伝えしたいことがあります。在日大韓基督教会は本当に良い教会、教団、総会を形成しています。私たちの総会は、世界のどこにも見られない教会です。総会長として仕えながら、任された役割のために、様々な多くの教団とも交流してきました。在日大韓基督教会の歴史と神学的な背景と教会の現実を報告するたびに、多くの指導者や教団は驚かれています。どのようにしてそれが可能なのか、ということです。

在日大韓基督教会の特徴を説明するいくつかの言葉があります。

(1) 超教派性 (エキュメニカル)

在日大韓基督教会は、その始まりから教派を越えて始まった教会であり、今日もこの精神は続いています。日本で生まれた在日同胞、日本で神学教育を受け、総会にて教職者となった方、各教団から宣教師として派遣された方が、共に宣教活動を担っています。一緒に働きながら、それぞれの持つ教派や教団を植えるといった活動はしません。在日大韓基督教会が持っている憲法と神学的背景を共有し、分かち合う牧会を行なっています。

(2) 少数性 (マイノリティ)

在日大韓基督教会は、少数者の立場で日本社会と教会内でもこれを大切にしながら宣教活動と教会活動が行われています。

(3) 多様性

私たちの住む社会が多様化するにつれて、教会員の構成も多様化しています。日本、韓国人と分かれていた教会内で在日同胞と新1世、このような言葉を使用していた時期もありました。

しかし、今日では非常に複雑で多様で多才なメンバーにより教会が形成されています。

このような背景を持ち、私たちの総会と教会が進むべき方向を探そうと、絶え間ない祈りと努力をしてきました。しかし、いつも私たちの祈りと希望する方向だけに進むわけではありません。教会内の分裂が起こる、教会の指導者の不在現象は、牧師だけでなく、長老を立てられない状況にある教会が多くなる、青年が急激に減る、青少年の教会離脱や幼い子どもたちが減るという社会的現象が教会内でも深刻な状態になっています。

このような状況で私たちができることは何でしょうか。教会内の分裂をなくし、教会に平安をもたらす唯一の道は、神様の御言葉を通して、牧師は正しく牧会をし、長老は牧師と協力して教会を治理することです。聖書の御言葉から与えられる言葉一つ一つが与える重みを考えてみてください! 私たちの召命は何ですか。謙遜と柔和と忍耐は、キリスト者が持つべき最も基本的な徳性を指します。お互いを愛すること、過ちを悔い改める時、お互いを容認し、受け入れる謙虚さが私たちに必要なのではないのでしょうか。聖霊により一つとされたことを力を尽くして守りなさいと言われます。誰かの意志によって一つになるではありません。総会長、役員、総会の実務者である総幹事の心に従って動くではありません。聖霊が望まれることをしなければなりません。総会には様々な人が集まっていますが、一つの心を持つ時、総会と教会は正しく進むことでしょう。総代が祈りの中で選出され、責任を引き受けた役員たちと実務者の力量を信じて協力することは会員として当然の姿勢です。

これまで40年間総会に仕えながら、私の胸に残るのは、私たちが在日大韓基督教会は本当に良い教会であり、美しい総会であるということです。もちろん、個々人が経験することに多少の違いはあるかもしれませんが。差別され、目に見えない抑圧と苦痛の中でも堅固に続けてきた115年の歴史は決して無駄なことではありません。これからも、たとえ小さな教団であり、総会であっても、神様の御心をこの地に立て、神様の御国が臨むことを祈りながら進まなければなりません。

「体は一つ、霊は一つです。それは、あなたがたが、一つの希望にあずかるようにと招かれているのと同じ」(4節)と聖書に記されているように、このことは可能であると私は信じています。

主よ、私たちを一つにしてください、一つになるべき総代の胸に分裂の動きがある時には、再び御言葉に立ち返り、「主の中で一つとなる私たちの総会」となるようにしてください! という祈りと共にこの御言葉を分かち合います。

西部女性会

5年ぶりに修養会を開催 偏見や先入観に気付く機会となる

西部地方教会女性連合会は、9月23日～24日神戸ハーバーランド温泉万葉倶楽部で、「これからの私たちの役割」と題する修養会を開催した。コロナ禍後、5年ぶりの一泊修養会であり、29名（6教会）が参加した。

開会礼拝は尹豊子副会長の司会で、今年の4月に牧師按手を受けた鄭詩温牧師（武庫川教会副牧師）から「メタノイア」（マルコ1：15）と題する説教があった。

全国女性会総務の石橋真理恵伝道師を講師に迎えて、「『はて？』は世をかえる」と題する講義があった。NHK朝の連続テレビ小説「虎に翼」を参考にしながら、性別役割意識をあらためて考える時間となった。講義やグループワークの時間を通して、ジェンダーギャップ指数の低い韓国や日本に生きている私たちが持つ偏見・先入観や無意識の思い込みに改めて気付かされた。自分のあたりまえは他の人のあたりまえとは違うかも、という意識を常に持ちながら、新しい時代を切り開いていかねばならないとの結論を得た。

閉会礼拝は梁律子会長の司会で、孫信一牧師（西宮教会）から「憐みの心を身につけなさい」（コロサイ3：12～17）と題する説教があった。

（報告：崔美恵子）



中部地方会

「協約」締結40周年記念集会 地方会と日本基督教団中部教区が開催

2024年10月20日主日の午後3時より、名古屋教会にて中部地方会と日本基督教団中部教区との宣教協約締結40周年記念集会が開催された。

開会礼拝は、中部地方会会長の崔和植牧師の司会で、中部地方会副会長の李大宗長老が祈祷し、KCCJ名古屋教会の合同聖歌隊の讃美の後、中部教区総会議長の加藤幹夫牧師が「わたしたちの交わり」（ヨハネの手紙一1：1～4）という題で説教した。礼拝で捧げられた席上献金は、教団の輪島教会に送られることが決まっていた。加藤幹夫牧師の祝祷で礼拝を終えた。

その後、食堂に場所を移し、金明均牧師が司会し祈祷により茶話会が行われた。中川ぶどうの木教会の尹成奎牧師が中部教区の参加者の紹介をし、豊田恵み伝道所の李珍容牧師が中部地方会の参加者の紹介、韓国のお餅やシッケなどを食べながら、思い出話が語られた。日本基督教団の熱田教会の小林光牧師の閉会祈祷で集会を終えた。

尚、今回の記念集会は、9月のKCCJとUCCJの記念集会が決まる前から予定されていた。

（報告：金明均牧師）



西部地方会

第1回勸士会を開催 20名の勸士が集まり礼拝を捧げる

第1回西部地方会勸士会を10月5日（土）武庫川教会で開催した。20名（5教会）の勸士たちが集まり共に礼拝を捧げた。

沈貞兄名誉勸士（神戸教会）と大山京子名誉勸士（川西教会）の証しを聴いた後、西部地方会にある13教会2伝道所それぞれの課題のために心を合わせてとりなしの祈りの時間を持った。引き続き祈りの者でありたいと願う。

（報告：崔美恵子）



関東女性会

“讚美とみ言葉の夕べ”開催 13の教会が参加して讚美を競演

関東地方教会女性連合会の“讚美とみ言葉の夕べ”が、9月22日（日）東京教会において開催された。

一部の開会礼拝は地方会長金容昭牧師（西新井教会）による「讚美があふれる人生」（詩編150：1～6）という題目で説教と祝祷で終えた。

二部の讚美の夕べでは13の教会が参加し、参加人数は約260人だった。新型コロナ禍を経験して以来13の教会が参加したのは珍しいことだ。

神奈川韓国総合教育院院長の裴恩英勸士の3曲の特別讚美があり、感動の時間となった。

今年の優秀賞は3年続けて横浜教会、人気賞は東京中央教会、努力賞はつくば東京教会が入賞した。

（報告：李恵淑）



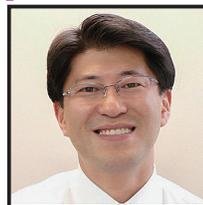
東京中央教会

安宰弘長老が召天 教会堂建築や牧師招請などに尽力

2024年9月29日、東京中央教会の安宰弘長老が享年54歳で天に召され、東京中央教会において金伸禹牧師の司式で葬儀が行われた。

故・安宰弘長老は1970年韓国で生まれ、2001年来日して東京中央教会にて執事、按手執事として仕え、2020年に長老として将立された。

東京中央教会の教会堂建築のために、また新しい担任牧師を請聘することなど、教会の発展と平安のために教会に仕えた。



秋の祈り

金顕承 (キム・ヒョンスン)

秋には
祈らせてください.....
落ち葉が散るときを待って私にくださった
謙虚な母国語で私を満たしてください。

秋には
愛させてください.....
ただ一人の人を選ばせてください。
最も美しい実のためにこの肥沃な
時間を育てさせてください。

秋には
ひとりでいさせてください.....
私の魂、
うねる海と
百合の谷を過ぎ
乾いた木の枝にたどり着いたカラスのように

海外韓人教会教育と牧会協議会 第15次 美国LA大会参加案内

- 日時：2025年2月18日(火)19:00～21日(金) 09:00
<任員会は18日(火) 16:00>
 - 場所：トーランス第一長老教会
Torrance First Presbyterian Church PCUSA
1880-1900 Crenshaw Blvd. Torraece,
CA 90501
<http://1church.com>
 - 主題：「ディアスポラ教会の未来」
 - ◆主題講師：玉聖得教授 (UCLA)
 - 参加費：1人 US\$ 200 (3泊4日、2人1室)
*1人1室はUS\$ 350
 - 主要日程：2月18日(火) LA到着
18:00 夕食
19:00 開会礼拝, 紹介, 教団長挨拶
20:00 主題講演
19日(水) 朝天祈祷会
各教団報告
発題:各地域別(美国、カナダ、日本、
オーストラリア、韓国など)
分科討議, トーランス第一長老教会
水曜礼拝と交流
20日(木) 朝天祈祷会
地域 探索
LA地域教会との交流、定期総会
閉会礼拝(聖餐式, 宣言文採択)
21日(金) 朝食後解散
- ※参加申請締め切り:2024年12月31日(担当:金柄鎬牧師)

<訂正とお詫び>

福音新聞2024年10月号の日本語版の1面、説教者の名前が間違いました。お詫びして訂正致します。

説教者の正しい名前は田一光牧師(水戸教会)です。

また、福音新聞2024年10月号4面の「韓大龍名誉長老召天」の記事の中で「韓国で生まれ、来日して」は間違いでした。正しくは「日本で生まれ」でした。お詫びして訂正いたします。

公 告

利害関係者および信者各位
本法人は、下記の不動産を「在日大韓基督教会浪速教会」の伝道の用に供するため、当法人の名義とすることを公告します。

- 1、土地
地番：大阪市西成区北津守3丁目69番1・69番3
地積：456.82㎡ (69番1)
164.94㎡ (69番3) 621.76㎡ (合計面積)

- 2、建物
地番：大阪市西成区北津守3丁目70番1
面積：130.80㎡ (1階) 90.41㎡ (2階)
221.21㎡ (延べ床)

2024年10月31日

在日大韓基督教会 代表役員 梁榮友
書 記 李明忠

小倉教会教役者請聘案内

在日大韓基督教会及び宣教協約教会から教役者を請聘します。

- ・資 格：KCCJ及び宣教協約所属教役者
- ・提出書類：自己紹介書
- ・締め切り：2024年11月30日
- ・提出 処：ap023tyu0221@outlook.jp
- ・問い合わせ：093-521-7271 (担任牧師)

神戸東部教会 副教役者請聘

神戸東部教会で副教役者を請聘します。

- ・副教役者：1名 (神学生或いは伝道師・副牧師)
- ・資 格：主日学校教師の経験者(日本語或いはピアノが出来る方を優先)
- ・謝 礼：総会が定めた基準
- ・提出書類：履歴書
- ・期 間：2025年3月15日(土) 必着
- ・提 出：郵便、又はE-mail
(提出前に教会に必ずご連絡下さい)
〒651-0077 神戸市中央区日暮通6-4-8
078-241-5253 携帯：090-1151-4196
hzc24429@yahoo.co.jp

宣教委員会主催オンライン異端宗教対策セミナー

「わたしがカルトに? ゆがんだ支配は すぐそばに:カルト問題とその対策」

- ・日 時：2024年11月15日(金) 19:30～21:00
- ・会 場：オンラインセミナー(ZOOM) ※言語は日本語!
- ・講 師：齋藤 篤 牧師(日本基督教団宮城野教会)
※プログラムは講演と質疑応答となります。
- ・対 象：教役者と信徒
- ・締 切：11月13日(水) まで
- ・申 込：書記 蔡銀淑牧師(ces0901@gmail.com)
- ・お問合せ：委員長 趙永哲牧師(080-5318-9058)

※参加申込は、それぞれの教会において取りまとめ、参加者のメールアドレスと共に送ってください。講演の資料とZOOMリンクは申請者宛てに直接メールにて送付します。